



宍道ライオンズクラブ

かわら版

平成 29 年 3 月 1 日
第 30 号

宍道ライオンズクラブ事務局
まつえ南商工会内
TEL 070-2369-8139

会長スローガン

「子供たちの未来のために、思いやりの心を」 WE SERVE

地域の宝である子どもたちが夢を持ち、すくすくと育つてもらうためには、まず大人や地域が立ち上がらなくては—との思いから初めて教育講演会を開催したものです。講師には発達障がい診断・治療・支援に取り組んでいる、日本でも数少ない専門医の橋本圭司医師（はしもとクリニック院長、東京世田谷区）を招きました。

全国で発達障がいのある人は約60万人とされ、少子化にもかかわらず早産などが原因で年々増え続けているそうです。しかも、症状がさまざままで医者でも分かりにくく、本人も自覚がないことから対応が難しいとされています。

症状と対応策を学ぶ

橋本医師は、いろいろな症状を紹介し、根気がない、反応が鈍いケースの場合はストレッチや緑の中の有酸素運動、食べ物（豚肉やトマト、昆布を、言語の遅れには助け舟を出す、タッチケアが大事など）症状に対応した対応をアドバイス。講演後には相談の時間も設けられ、充実した講演会となりました。ちなみに、橋本医師によると、上手な療育者は△短くシンプル

に指示する△肯定的△人のせいにならない△できることを伸ばそうとする、逆に下手な療育者は▼回数が多い▼否定的▼人のせいにする▼できないことをさせようとする—だそうです。参考になりましたでしょうか。

★桜井会長の話

子どもを取り巻くさまざまな課題を地域で共有することは、安心して住み続けられる地域づくりのために重要と考えています。今回は「いじめ」をテーマにした講演会を予定しています。子どもたちの未来のために地域の皆さまのご参加をよろしく願います。

テーマは発達障がい



▲発達障がいの症状や対応策を語る橋本圭司医師
＝宍道公民館

教育講演会を初開催

宍道ライオンズクラブ（桜井照久会長）は昨年12月25日、「宍道公民館・しんじアエルネ」で「子どもを取り巻く環境について考える講演会」を開催しました。テーマは不登校や貧困、いじめなどの原因のひとつとされる発達障がい。現代が抱える深刻な問題とあって、80人近い聴衆は専門医の話に熱心に耳を傾けていました。

★裏面にアンケート結果を載せています。★

フォトアラカルト

12/1 国際平和ポスター表彰



◀最優秀賞に選ばれた、右から吉岡千夏さん、飯塚茉莉さん、高橋孝幸君。後方は桜井照久会長

12/14 みずうみの里 クリスマス会



12/15 ライオンズ 家族忘年会



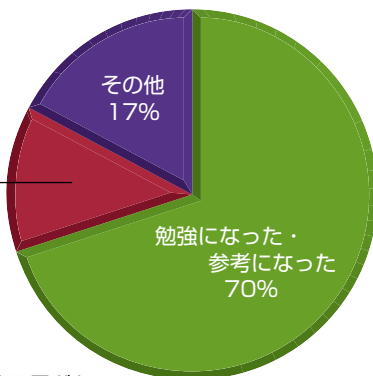
12/19 宍道幼保園 クリスマス会



2/24 わかたけ学園 そば打ち交流会



講演会のアンケート結果



関連する子どもの環境についてもっと知りたい 13%

感想 (抜粋)

「日の当たらない分野の開催、本当にありがとうございました。子どもを取り巻く環境などの研修会が今後もあればいいと思います」

「よりよく生きるための方法が分かりやすく説明されてよかった」

「最新の情報を得ることができて、とても有意義でした。実践に生かしたいと思います」

「言葉の出にくい子どもがあり、かわり方の参考になりました」

「とてもいい勉強になりました。地域で生活していくうえで、いろんなことを理解することが大事で必要なことと思います」

「県立中央病院の脳外科で相談員をしており、大変勉強になりました。大変な仕事ですが、また頑張っていこうと思いました」

「子育てと通じるところがあると思った」

宍道ライオンズクラブ ホームページ ▶ <http://ww52.tiki.ne.jp/~shinjilc/>
(クラブ方針、活動内容、役員会構成、かわら版などがご覧になれます)